

1 教科について

国語

※ 全国学力・学習状況調査については、調査を実施した場合、調査実施後、改善計画に付け加える。(別紙5提出時には不要)

昨年度の課題

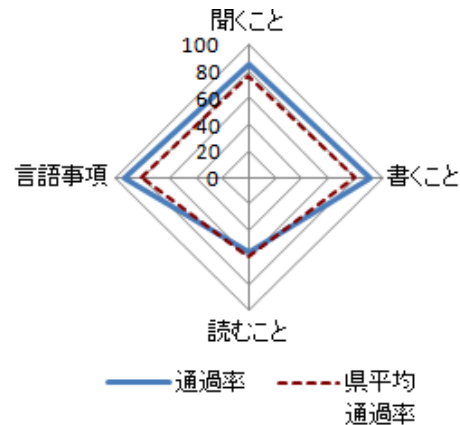
①漢字の行書の基礎的な書き方についての問題の通過率は、53.3%であった。漢字の行書の基礎的な知識に課題がある。
◎「書くこと」の領域が76.7%と一番低い。自分の意見に対する理由を明確にし、構成について考える力に課題がある。

昨年度の課題を受けて具体的に取組んだ事項

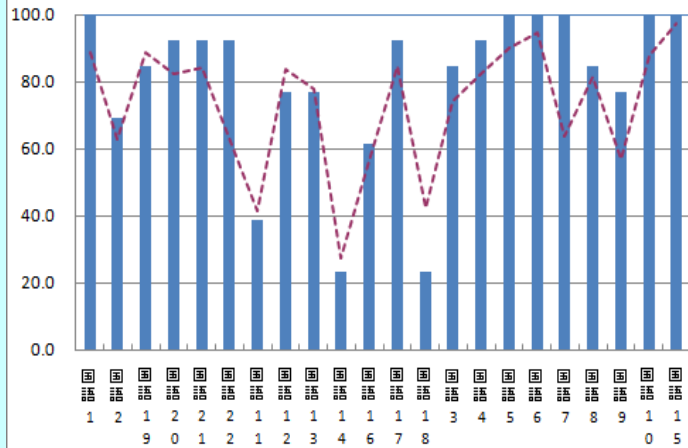
①書写の時間に漢字の楷書や行書について復習させながら、作品制作に取り組ませた。
②授業で簡単な文章を書かせる学習を多く取り入れ、自分の意見と根拠をはっきり書かせるようにした。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 80.1% 県平均 73.2%

領域別平均通過率(国語)



設問ごとの平均通過率(国語)



成果 ◎:「基礎・基本」定着状況調査
◇:全国学力・学習状況調査

◎・・・二六「行書の基礎」53.3%が、76.9%に向上した。
◎・・・「書くこと」の領域が、76.7%から90.4%に向上した。

重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査
◇:全国学力・学習状況調査

◎・・・三三(3)「登場人物の心情の把握」が、23.1%とかなり低い。
◎・・・四四「文章の展開の把握」も、23.1%と同じく低い。
◎・・・三二「文脈上の語句の理解」も、38.5%と低い。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

①発問の内容を、まず個人で考えさせ、次に小集団で考えたあと、全体に交流していく展開の授業を充実させていく。
②授業の中で、簡単な練習問題に取り組ませる。
③宿題のワークブックの、解答と答え直しを確実にやりきらせる。

来年度の目標値

- 「登場人物の心情の把握」「文章の展開の把握」の通過率を50.0%以上%にする。
- 「文脈上の語句の理解」の通過率を70.0%以上にする。

中学校学力向上対策事業研究指定校 指導方法等の改善計画

数 学

※ 全国学力・学習状況調査については、調査を実施した場合、調査実施後、改善計画に付け加える。(別紙5提出時には不要)

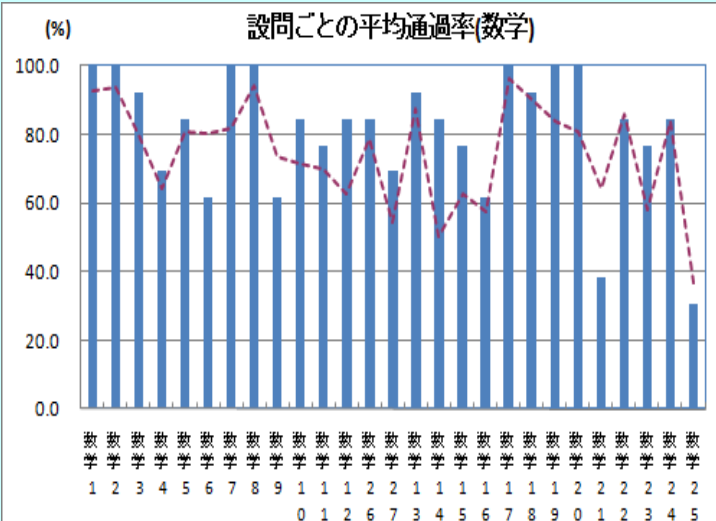
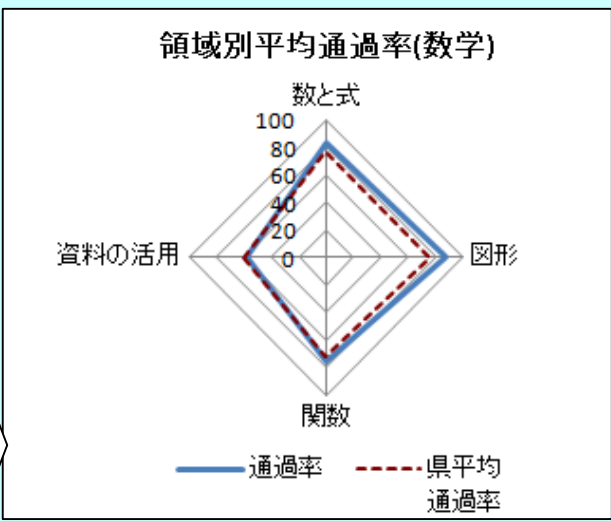
昨年度の課題

- ① 度数分布表から相対度数を求めることができていない。
- ② 関係を文字式で表すことができていない。
- ③ 平行四辺形になるための条件がわかっていない。

昨年度の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- ① 相対度数については確率の時に再度確認して定着をはかる
- ② 関係を文字式で表すことは2年生の一次関数を学習した時点、表を利用して関係を見つけ出すことを指導する
- ③ 平行四辺形になるための条件について、2年での補充で定着をはかる

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **81.2%** 県平均 **74.7%**



成果 ◎:「基礎・基本」定着状況調査
◇: 全国学力・学習状況調査

◎・・・昨年度の学校平均通過率が73.3%だったのに対し、本年度は81.2%と7.9ポイントアップした。

重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査 ◇: 全国学力・学習状況調査

- ◎・・・度数分布表から相対度数を求めることができるが30.8%と低い。
- ◎・・・比例の関係にあるものが分かるが38.5%と低い。
- ◎・・・正負の数の利用ができる61.5%と低い。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 相対度数の意味をしっかりと教えて理解させ、定期的に復習の小テストを実施してじっくり考えさせ、繰り返し定着を図る。
- ② 比例・反比例の性質をしっかりと教えて理解させ、定期的に復習の小テストを実施してじっくり考えさせ、繰り返し定着を図る。
- ③ 基準との差を正負の数を使っての表し方をしっかりと教えて理解させ、定期的に復習の小テストを実施してじっくり考えさせ、繰り返し定着を図る。

来年度の目標値 ○相対度数の問題の通過率が80%以上になるように目指す。

中学校学力向上対策事業研究指定校 指導方法等の改善計画

英語

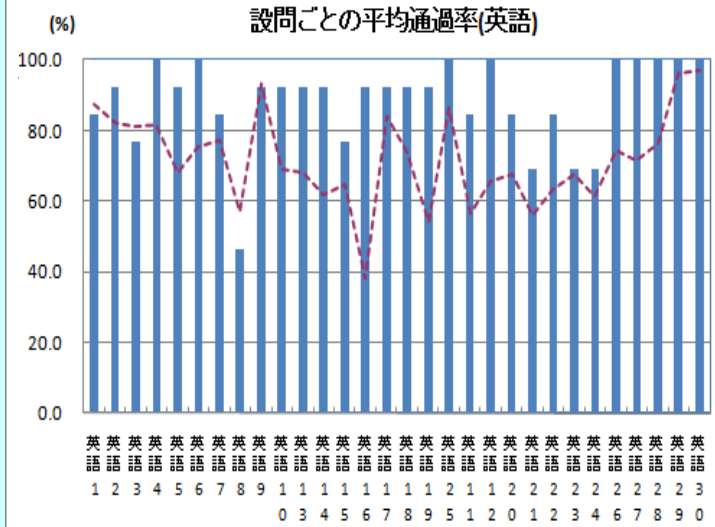
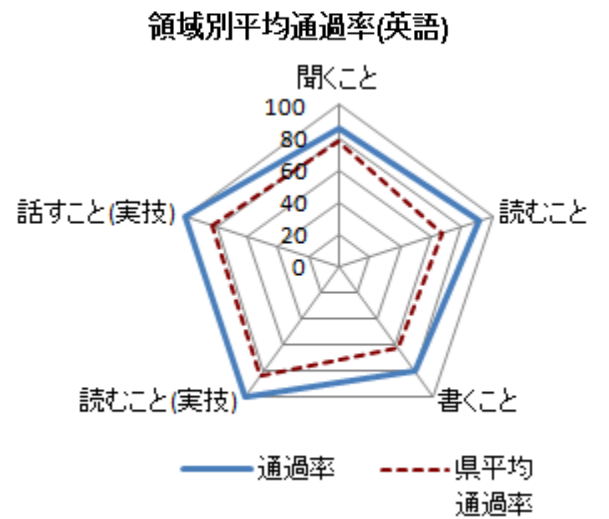
昨年度の課題

①助動詞について知識があり、会話文を組み立てることができていない。
 ◎疑問詞の用法について知識があり、疑問詞を用いて、簡単な文を書くことができるかどうかをみる問題ができていない。
 ◎書くことの領域の問題の傾向として、語順はあっても綴りが正確に書けないために誤答となっている生徒が半数いる。

昨年度の課題を受けて具体的に取組んだ事項

①ウォームアップの場面で What do(does)～?を含む既習の表現を使って自己表現活動をさせることにより定着を図った。
 ②単語を正しく書けるように単元毎の単語テストを継続的に実施した。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 88.5% 県平均 71.9%



成果 ◎:「基礎・基本」定着状況調査

◎・・・昨年度の学校平均通過率が73.6%だったのに対し、本年度は88.5%と14.9ポイントアップした。
 ◎・・・助動詞について知識があり会話文を組み立てる力を見る問題の通過率は、昨年度13.3%だったのに対し、本年度は92.3%と79ポイントアップした。

重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査

◎3-2 の曜日を聞き取る問題の通過率が46.2%と低い。
 ◎10-2 の過去形を使って自分の考えや気持ちなどが読み手に伝わるように書く問題の通過率が69.2%と低い。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

①日々の授業のウォームアップで曜日を尋ね、火曜日と木曜日の違いを意識させていく。
 ②問いに対して正しい時制で答えられるように日々の授業で Q&A 活動を取り入れ聞き取りや書き取りのポイントを指導していく。

来年度の目標値 ○3-2 や 10-2 のような問題の通過率が80%以上になるように目指す。